

第 55 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	鎭谷ゼミ	チーム名	勝ちマシユ***
タイトル	FDI と国内投資		
テーマ群	b) 財政・金融 d) 国際経済 e) 産業・企業		
メンバー	詫間陽生、鼻登洋充、マシユアリエル、関ロー希、尾崎一真、石田侑真		
研究計画内容	【研究背景】 FDI の流入が国内経済に与える影響については、国内企業の投資を誘発する効果と外資企業が国内市場への参入により現地の国内企業の投資機会が減少する効果の二つが考えられる。そこで本研究は、インドネシアの「州」レベルに着目し、FDI の流入が国内投資を促進するのか阻害するのかについて実証的に明らかにすることを目的とする。 【研究内容】 本研究は BPS（インドネシア中央統計局）から取得したパネルデータを用い、固定効果モデルで FDI が州別国内投資（PMDN）に与える影響を分析する。 【期待される効果】 州レベルでの分析を通じて、FDI の増加が国内投資に対し「クラウディング・イン効果」と「クラウディング・アウト効果」のどちらをもたらすのかを特定できる。また、地域固有の経済構造、産業集積、制度の違いが、FDI の効果にどのように影響を及ぼすかを明らかにできる。 【参考文献】 Al-Sadig, A. “The effects of foreign direct investment on private domestic investment: evidence from developing countries,” <i>Empirical Economics</i> 44 (2013): 1267-1275. Agosin, M. R., and R. Machado. “Foreign Investment in Developing Countries: Does it Crowd in Domestic Investment?,” <i>Oxford Development Studies</i> 33:2 (2005): 149-162.		